

## 夏休み明け！ 学級経営のポイント

### ～コロナ禍だからこそ、“気づき”を大切に～



新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、学校が再開されました。しかし、例年とは違うリモートによる学習が中心であり、先生方は、これまで以上にその対応に追われていることと思います。

子供たちは、閉じこもりがちな夏休みだったでしょうが、心身ともに成長しているはず。そして、成長した分だけ悩みや不安も抱えているでしょう。

リモートによる授業の中でも、不安を抱えた子供たちが、安心安全のもと学校生活を送ることができるようにするため、児童生徒理解の着眼点を2点まとめました。ぜひ、ご活用ください。

#### 児童生徒理解のための着眼点1【子の特性から】

##### ★ 子どもの不快感情の表し方

- ・不快感情をほとんど表情や行動で表さない
- ・不快感情を表情や行動に表すことはできるが、表し方が衝動的、攻撃的である
- ・不快感情の表し方が、年齢にそぐわない（幼い、大人びている）
- ・年齢にふさわしい様子で、泣いたり怒ったり、不安等を表情や言葉で表現することができる

##### ★ どのようなところで苦しみやストレスを抱えているか？

- ・家庭で ・友人関係で ・担任との関係で ・学習で ・身体面で ・その他

##### ★ 子どもは、先生からどのように受け止められていると感じているのか？

- ・先生は、私の少しの不調でも気づき励ましてくれる
- ・先生は、私が悩みや不安を相談すると、親身になって聞いてくれる
- ・先生は、私が間違いや失敗をしても、やさしく助けてくれる
- ・先生は、普段から私のこと見守ってくれている 等々

【参照：大河原美以 著 見えない「いじめ」とある教室の物語】

#### 児童生徒理解のための着眼点2【学級集団と子のかかわりから】

##### 教師の目指す学級

機能している学級（きまりある学級）  
集団として統制がとれている  
(是々非々が明確 柔らかな一貫性)

##### 子どもにとっての学級

安心して、泣いたり、怒ったり、失敗したりできる  
安心して、喜んだり、笑ったりできる  
(安全・安心感、自己肯定感・有用感を感じ得る)  
反面、不快感情を表出しづらい（個が見えにくい）  
状態でもある。

様々な行為行動（不登校、問題行動等）が起こり、それが突発的、衝動的に見えるが、抑えられていた不快感情が表出されると考えられるため、どの学級でも起こりうるという危機意識をもつ

集団＝明確なルール 望ましい人間関係  
個人＝快・不快が表すことができる安全・安心感

丁寧な観察、情報交換、違和感の共有  
客観的な見とり（Q-U、アンケート等）